



先週、無事公立高校の願書の受付を済ませることができました。今日はいよいよ最初の出願状況が発表されます。「倍率って何?」「どうやって見るの?」と思っている人に向けて、簡単に出願状況の見方を説明したいと思います。

この表は、ある年度の公立高校の当初出願状況だと思ってください。(数字は架空のものです。)

学校	学科	募集人員(推薦)	一般	推薦	連携	合計	5%	50%	倍率(前年)
N高校	普通	320	540			540	16		1.7(1.4)
S高校	普通	280 (50)	150	130		280	5		1.0(1.2)
H商業	情報処理	80 (40)	60	30		90			1.1(1.2)
	流通経済	80 (40)	50	90		140			1.8(1.4)

N高校は、推薦受検を実施していません。したがって、一般入試で540名が願書を出しています。定員は320名なので、320名が合格し、 $540 - 320 = 220$ 名が不合格となります。倍率の出し方は、受検者÷定員なので、 $540 \div 320 = 1.6875$ 四捨五入して1.7倍となります。前年度の倍率が1.4倍だったので、今年の方が競争は厳しくなると考えられます。

S高校は、推薦試験を実施します。推薦でとるのは50名です。推薦枠いっぱいまで合格者をとったとしたら、50名が合格し、 $130 - 50 = 80$ 名が不合格となります。推薦受検に関していえば2.6倍というかなり高い倍率になります。しかし、一般試験の受検者は150名と多くありません。もし、推薦受検不合格者がそのままS高へ再出願したとしたら、一般受検者は $150 + 80 = 230$ 名となり、1.0倍でほぼ全員合格できる予想になります。

最後にH商業です。H商業は情報処理科の推薦受検者が30名と少ないです。推薦枠は40名なのでこの30名がすべて合格できるのではないかと思います。しかし、複数の学科がある場合、第2希望も含めて合否判定をします。したがって、流通経済科志望の生徒で、第2希望に情報処理科を志望する優秀な生徒がたくさんいた場合、情報処理科で合格する可能性があります。情報処理科を第1志望としていても、自己推薦入試では不合格になるかもしれません。

以上、簡単に出願状況の見方について説明しました。分からないことがあれば、今日、本物の出願状況が出たら、担任の先生に聞いてみましょう。

大切なことは、倍率に一喜一憂するのではなく、自分が選んだ進路に自信をもって臨むことです。誰にとっても、初めての入試は不安なものです。必要以上に心配したり、悩んだりしないで、前向きに取り組んでいきましょう。やるべきことを淡々とやり遂げる。大丈夫です。みなさんなら、きっと乗り越えられます。



I 公立高校の出願変更について(再掲載)

公立高校の出願変更の受付期間は、1月27日(火)～2月2日(月)です。1月15日の「進路だより44号」でお知らせした通り、校内の申し出は1月29日(木)をめどとし、できるだけ30日(金)のうちに高校での手続きを完了していただきたいと思います。出願変更は、保護者の方に御協力いただきます。進路係へは、朝8:30～8:45にお電話をいただけると助かります。よろしくお願いします。

II 自己推薦入試受検者の今後の手続きについて

公立高校の自己推薦入試は2月10日(火)に行われます。試験の結果は、2月18日(水)までに中学校から保護者に連絡します。その後の手続きは、以下の通りです。

A 合格内定となった場合 → 「入学確約書」の提出 2月19日(木)厳守

B 合格内定とならなかった場合 → 「再出願願」の提出 2月19日(木)・20日(金)手続き

合格内定になっても、なくても、その後の手続き日程には余裕がありません。そこであらかじめ、自己推薦入試を受検するすべての御家庭から、再出願先の意思確認をさせていただきます。

自己推薦受検者は、1月28日(水)の放課後に行われる自己推薦者説明会に参加し、「再出願意思確認書」に必要事項を記入の上、2月2日(月)までに、提出するようお願いいたします。



応援しています！

(担当 鹿野内 Tel 897-4584)